

青翔開智高等学校 令和5年度 入試概況

入試結果概況

| | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
|------|-------|-------|-------|----|
| | | | 総合型 | 一般 |
| 募集定員 | 20 | 20 | 20 | |
| 志願者数 | 24 | 38 | 4 | 35 |
| 合格者数 | 21 | 32 | 4 | 30 |

※入試結果に青翔開智中学校からの内部進学者は含みません。

入試総評

令和5年度入試より総合型選抜と一般選抜に分けて実施しました。

総合型選抜は、面接検査として「中学校3年間の活動や研究等の実績紹介および本校での探究計画について」というテーマでプレゼンテーションし、その内容について質疑応答を行ないました。

一般選抜の選考内容は、例年通り学力検査（5教科）及び面接検査（個人面接、書類審査）でした。

いずれの選抜においても、アドミッション・ポリシーに沿った人物であるかどうかを総合的に判断して合否を決定しました。

学力検査 詳細

| 科目／配点 | 国語／50 | 数学／50 | 社会／50 | 英語／50 | 理科／50 | 合計／250 |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 受検者最高点 | 48 | 36 | 45 | 48 | 40 | 197 |
| 受検者最低点 | 21 | 10 | 20 | 14 | 14 | 97 |
| 受検者平均点 5教科250点満点 | 37.1 | 24.4 | 33.7 | 32.3 | 27.5 | 154.9 |
| 合格者平均点 5教科250点満点 | - | - | - | - | - | 160.4 |

※上記は令和5年1月20日（金）実施の一般選抜「学力検査」結果に基づく数値です。

実際の合否は、学力検査・面接検査を合わせた総合判定となります。

国語

大問5題で例年より全体的に難度は低く、基本を押さえた丁寧な解答が求められました。【問題1】は会話文をもとに、口語文法や漢字などの知識・論理展開の把握など、基礎の確認問題です。【問題2】【問題3】【問題4】はそれぞれ論理的文章・文学的文章・古文の問題です。【問題5】は「エッセンシャルワーカー」に関する複数の資料から読み取った情報と、それに対する主張を記述する作文形式の出題でした。様々な分野の文章に取り組む姿勢を養いましょう。特に記述形式の問題では問題文をよく読み、何が問われているかを正確に理解するように心がけてください。

数学

構成は5題で、難度は標準ですが例年に比べ易しい問題も含めました。【問題1】は基礎計算に加えて、数字や図形の意味を理解しているかを問う形となりました。【問題3】【問題4】では基本的な関数、規則性の問題を出題しました。【問題5】は、発展的な内容ではありますが、問題文中に計算方法の記載があり、文章を正しく読み、数式に表す力があれば答えを求めることができます。言葉を正確に理解する習慣をつけていただきたいです。

社会

地理・歴史・公民の全分野からの出題となります。説明問題を多く出題しており、用語的な一問一答よりも、用語・図・グラフなどから背景や理由を考える学びが必要となります。【問題4】では「SDGs」について出題しました。一つの事例がどのようにSDGsの他の項目と関わっているのかを記述する問題です。普段の学習から、複数の項目を関連づけることを意識して学習することが大切です。

英語

県立入試の問題形式をベースに全6題で構成し、基本的な文法知識・語彙力・読解力を問う内容を出題しています。独自の問題である【問題6】は、与えられたイラストに関して自由に英作文を作る問題です。描かれている人や物の説明だけでなく、その場面に至るまでの説明でも、その後の説明でも構いません。限られた文字数に収まり、かつ文法やスペリングのミスをできる限り避けて表現しましょう。【問題6】を通して答えがひとつとは限らないことに対して自分なりの答えを見つけ出す本校の特色を意識して欲しいと考えています。

理科

全8題で出題し、実験考察を題材とした問題が中心でした。基本的な知識を問う問題に加えて、与えられたデータからグラフ作成させる問題や、思考力を要する計算問題も合わせて出題しました。また、本校で行う探究活動においては実験方法を自ら考える機会が多くあります。そのため【問題8】では、与えられた実験目的に対して達成できなかったことを指摘すること、それを改善するための実験計画を立案することや、比較可能なデータ収集のために必要な実験方法を適切に表現することを問いました。